富山大学研究生規則

平成17年10月1日制定
平成19年 3月20日改正
平成27年 3月19日改正
令和元年 9月24日改正
令和4年 3月30日改正

(趣旨)

第1条 この規則は、[国立大学法人富山大学学則](#)第88条及び[国立大学法人富山大学大学院学則](#)第47条の規定に基づき、富山大学の学部、研究科、教育部、学環又は附置研究所（以下「各学部等」という。）において受け入れる研究生に関し必要な事項を定める。

(入学資格)

第2条 学部又は附置研究所の研究生として入学できる者は、志望する学部又は附置研究所に係る専門分野又は関連分野の学士の学位を有する者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

2 研究科、教育部又は学環（以下「研究科等」という。）の研究生として入学できる者は、志望する研究科等に係る専門分野又は関連分野の修士の学位を有する者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

(出願手続)

第3条 研究生として入学を志願する者（以下「入学志願者」という。）は、あらかじめ指導を受けようとする教員の承諾を得た上で、入学願書その他必要な書類に検定料を添えて所定の期日までに、志望する学部、研究科、教育部、学環又は附置研究所の長（以下「学部長等」という。）に願い出なければならない。

2 前項の場合において、現職教育のため任命権者の命により派遣される教職員にあっては、任命権者の推薦書を添付するものとする。

3 入学願書の受付期間は、各学部等において定める。

(入学者の選考)

第4条 入学志願者に対しては、教授会、研究科委員会又は学環委員会（以下「教授会等」という。）において選考を行う。

2 前項の選考による合格者の決定は、教授会等の意見を聴いて、学部長等が行う。

(入学手続及び入学許可)

第5条 前条により合格した者は、指定の期日までに、各学部等において定める書類を提出するとともに、入学料を納付しなければならない。

2 学部長等は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可するものとする。

(入学時期)

第6条 研究生の入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特別の理由がある場合は、この限りでない。

(研究期間)

第7条 研究生の研究期間は、1年以内とする。ただし、研究期間の延長を願い出た場合は、各学部等の定めるところにより、延長することができる。

(聴講)

第8条 研究生は、指導教員及び授業担当教員の許可を得て、本学が開講する授業科目のうち研究に関連する授業科目を聴講することができる。

(施設等の利用)

第9条 研究生は、指導教員及び施設設備管理者の許可を得て、本学の施設及び設備を利用することができる。

(退学)

第10条 研究生が、研究期間終了前に退学しようとするときは、その事由を付して学部長等に願い出なければならない。

(除籍)

第11条 研究生として不相当と認められる者については、教授会等の意見を聴いて、学部長等が除籍する。

(授業料等)

第12条 研究生の検定料、入学料及び授業料の額は、富山大学における授業料その他の費用に関する規則の定めるところによる。

2 研究生は、研究期間に係る授業料を所定期日までに納付しなければならない。

(現職教育のために派遣される者の授業料等)

第13条 現職教育のため任命権者の命により派遣される教職員については、第3条、第4条及び前条の規定にかかわらず、検定料、入学料及び授業料は徴収しない。

(研究の費用)

第14条 研究に際しては、研究生に費用の負担を求めることができる。

(その他)

第15条 この規則に定めるもののほか、研究生について必要な事項は、各学部等において定める。

附 則

この規則は、平成17年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年3月20日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和元年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。